

令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告

1 組織

(1) 都立羽村特別支援学校 学校運営連絡協議会 協議委員 (外部15名)

明星大学教育学部 教育学科 教授	島田 博祐 様
株式会社パソナハートフル 副社長 執行役員	白岩 忠道 様
株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ 人事部 T&G ソーシャルファーム	
東京サポートセンター長 チーフソーシャルパートナー	宮崎 家光 様
東京都就労支援アドバイザー	若杉 哲文 様
社会福祉法人 友愛学園児童部 施設長	石川 淳 様
瑞穂町障害者就労支援センター センター長	西出 英高 様
関哉法律事務所 弁護士	関哉 直人 様
あきる野司法書士事務所 司法書士	石井 寛昭 様
羽村市動物公園 園長	佐藤 新吾 様
UR羽村団地自治会 会長	鈴木 登美夫 様
西多摩保健所 保健対策課長	村上 邦仁子 様
羽村市立松林小学校 学校長	鳥居 夕子 様
東京都立羽村高等学校 学校長	神谷 画歩 様
羽村特別支援学校 PTA 会長 (校内)	西野 寛子 様
羽村特別支援学校 PTA 会長 (校外)	渡部 美由紀 様

(2) 協議委員 (内部12名)

東京都立羽村特別支援学校 校長	井上 一仁
東京都立羽村特別支援学校 副校長	平野 信治
東京都立羽村特別支援学校 副校長	有馬 宏子
東京都立羽村特別支援学校 経営企画室長	原 誠一
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭 (事務局)	田中 孝志郎
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	二方 宏和
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	小川 竜司
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	結城 幸太郎
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	矢島 信吾
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	三上 博史
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	藤田 嘉洋
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	中野 智恵美

(3) 評価委員 (6名)

明星大学 教育学部 教育学科 教授	島田 博祐 様
友愛学園児童部 施設長	石川 淳 様
東京都立羽村特別支援学校 PTA 会長	西野 寛子 様
東京都立羽村特別支援学校 副校長	有馬 宏子
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭 (事務局)	田中 孝志郎
東京都立羽村特別支援学校 主幹教諭	三上 博史

2 令和6年度学校運営連絡協議会の開催日時及び概要

第1回 令和6年6月25日(火) 午後2時00分から午後4時00分まで

(1) 授業見学

(2) 令和6年度 学校経営についての御意見

(3) 令和6年度 学校評価(案)についての御意見

※第1回は会議の前に30分間評価委員会を開催。

第2回 令和6年11月15日（金） 午後1時30分から午後3時30分まで

- (1) 授業見学
- (2) 令和6年度学校経営進捗状況の報告
- (3) 学校評価の中間報告及び回収率等

※第2回は会議の後に30分間評価委員会を開催。

第3回 令和7年2月5日（水） 午後2時00分から午後4時00分まで

- (1) 学校評価報告についての御意見
- (2) 本校への提言
- (3) 今年度の学校運営についての御意見

※第3回は会議の前に30分間評価委員会を開催。

2 学校運営連絡協議会による学校評価

(1) 保護者アンケート

回答率\学部	小学部	中学部	高等部	全校
今年度	82.8%	79.5%	72.4%	78.3%
5年度	56.0%	53.9%	46.6%	52.2%
4年度	71.3%	70.3%	58.5%	65.6%

○アンケート項目と評価

アンケート項目に対し、設問ごとに下表の評語に沿って回答いただいたものを評価とする

評語	4	3	2	1	0
説明	はい そうです	はい どちらかといえば そうです	いいえ どちらかといえば そうしません	いいえ そうしません	わかりません

設問	設問内容	学部	保護者(回答数 392)					
			4	3	2	1	0	無回答
1	安心・安全な教育環境の整備に努めている。	小	79	52	6	0	3	0
		中	58	31	3	1	4	0
		高	99	50	2	0	4	0
2	教職員全員が、常に人権感覚を磨き、児童・生徒の人権を尊重し、体罰、不適切な指導、ハラスメントがない教育を実践している。	小	71	58	2	0	9	0
		中	37	46	4	2	8	0
		高	76	58	9	0	10	2
3	学校は、児童・生徒の健康を大切にしている。	小	89	47	1	0	3	0
		中	62	31	2	2	0	0
		高	90	58	2	0	4	1
4	学校は、個人情報の保護を厳守している	小	82	49	0	0	9	0
		中	54	27	2	0	13	0
		高	92	51	1	0	10	1
5	学校は、いじめ、性被害、自殺予防について、早期対応や相談、家庭との連携強化に取り組んでいる。	小	59	45	4	1	31	0
		中	42	30	5	2	18	0
		高	68	57	4	0	25	1
6	学校は、家庭との情報共有・連携を図っている。	小	103	32	3	1	1	0
		中	63	30	3	1	0	0
		高	104	43	4	3	1	0

7	学校は、行事を適切な内容で実施している。	小	105	33	1	0	1	0
		中	52	39	4	0	2	0
		高	85	56	8	3	3	0
8	学校は個別指導計画、学校生活支援シート（個別の教育支援計画）に基づいた適切な指導を実施している。	小	101	38	0	0	1	0
		中	57	36	0	2	2	0
		高	102	42	4	0	7	0
9	学校は、児童・生徒の実態把握をもとに、学習環境の整備やＩＣＴ機器等の活用、視覚支援等を効果的に活用した工夫と指導が充実している。	小	58	47	4	2	29	0
		中	33	41	7	2	14	0
		高	83	46	6	2	18	0
10	学校は、キャリア教育の視点を持ち、地域資源を活用した授業実践を行っている。	小	67	49	2	1	21	0
		中	41	35	5	0	16	0
		高	85	50	0	0	19	1
11	学校は、卒業後を見越し、一人一人に応じた適切な進路指導、進路相談、情報提供を実施している。	小	56	42	4	3	35	0
		中	38	28	8	1	22	0
		高	83	50	7	2	13	0
12	学校は、ライフ・ワークバランスの実現を図っている。	小	75	48	1	1	15	0
		中	43	32	5	1	16	0
		高	87	46	2	0	19	1

○保護者アンケートの全ての設問において「4 はい、そう思います」、「3 はい、どちらかといえばそう思います」の肯定的な回答が75%を超えており、羽村特別支援学校の取組みに対し一定の評価があった。一方で、設問5「学校は、いじめ、性被害、自殺予防について、早期対応や相談、家庭との連携強化に取り組んでいる。」、設問9「学校は、児童・生徒の実態把握をもとに、学習環境の整備やＩＣＴ機器等の活用、視覚支援等を効果的に活用した工夫と指導が充実している。」、設問11「学校は、卒業後を見越し、一人一人に応じた適切な進路指導、進路相談、情報提供を実施している。」については、「0 わかりません」の回答が全体の15%を超えており、設問内容の検討や学校の取組みについての情報発信の見直しの必要がある。

（２） 放課後等デイサービスアンケート

回答率		放課後等デイサービス				
今年度		66.7%				
設問	設問内容	放課後等デイサービス（回答数32）				
		4	3	2	1	0
1	学校との情報共有は、十分にできていますか。	3	18	8	3	0
2	学校から放課後等デイサービスの送迎時には、安全確保が十分にされていますか。	12	13	6	1	0
3	マチコミメールに登録していますか。（※1か4でお答えください。）	26			6	

○今年度より、放課後等デイサービスの方々にも学校評価アンケートへの協力をいただいた。設問1、2について、それぞれで「2 いいえ、どちらかといえばそうしません」、「1 いいえ、そうしません」が20%を超える結果となった。今後は、より一層、放課後等デイサービスとの連携を深め、「情報共有」や「送迎時の安全確保」が円滑に行われるよう協議の場を設定していく。また、アンケートの設問内容についても検討していく。

(3) 教職員アンケート

回答率	教員
今年度	94.7%

設問	設問内容	教員（回答数 179）			
		4	3	2	1
1	常に人権感覚を磨き、児童・生徒の人権を尊重し、体罰、不適切な指導、ハラスメントがない教育を実践している。	131	47	0	1
2	自らサービスの厳正に努め、服務規律を遵守している。	153	26	0	0
3	学年・クラス等で共有し、児童・生徒一人一人に卒業後を見越した適切な支援、指導を行っている。	116	60	3	0
4	人権に配慮し児童・生徒に対し「さん」付けを実践している。	126	50	3	0
5	キャリア教育の視点を持ち、地域資源を活用した授業実践を行っている。	84	82	12	1
6	外部専門員等の助言を活用し、指導や授業改善を図り、学年で共有している。	120	56	3	0
7	育成すべき3つの柱（「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」）と主体的・対話的深い学びの視点を重視した授業を実践している。	100	74	5	0
8	教材ライブラリー等を活用しつつ、個々に合った教材の作成と効果的な活用を行っている。	85	80	10	4
9	アセスメントに基づいた根拠のある指導を実践している。	94	74	11	0
10	保護者との情報共有・連携を図っている。	144	35	0	0
11	卒業後を見越し、一人一人に応じた適切なキャリア教育（進路指導）、進路相談、情報提供を実施している。	101	67	10	1
12	教職員一人一人が「すべては子供たちのために」の方向性を持ち、自己の職責を全うし、主体的に、組織的に学校運営に参画している。	99	62	15	3
13	若手教員等の育成を図るため、チームを編成し組織的にやっている。	70	85	8	5
14	ミドルリーダーを中心とし、所掌する業務の進捗管理を適切に行う円滑な学校運営を行っている。	80	93	4	2
15	ライフ・ワークバランスの実現を図っている。	57	93	18	11

○教職員アンケートの全ての設問において、「4 はい、そう思います」、「3 はい、どちらかといえばそう思います」の肯定的な回答が80%を超える結果となった。その中で、「2 いいえ、どちらかといえばそう思いません」、「1 いいえ、そう思いません」の割合が高かったのが、設問15の16.2%、設問12の10%であった。今後は、保護者の皆様や地域の方々の御理解・御協力も得ながら、教職員のライフ・ワークバランスの実現を図りながら、教員一人一人が、自己の職責を全うし「すべては子供たちのために」の方向性の中で主体的・組織的に学校運営に参画できるように取り組んでいく。

（４）高等部生徒学校評価アンケート

※自由意見については、別紙高等部生徒アンケートを参照

[アンケート回収率]

《 高１ 》	在籍人数：８１名	回収人数：６４名	アンケート回収率＝７９．０％
《 高２ 》	在籍人数：６７名	回収人数：５３名	アンケート回収率＝７９．１％
《 高３ 》	在籍人数：６６名	回収人数：５８名	アンケート回収率＝８７．８％
合計	２１４名	１７５名	８１．７％

参考：令和５年度 ７９．６％ 令和４年度 ４５．６％

[アンケート方法]

用紙によるアンケート（ホームルーム時に配布し、教室にて実施。主幹教諭が廊下で回収した）
Formsによるアンケート（１人一台端末を活用し、教室にて実施。）

１．学校は楽しいですか？（※回答数 高１：６４ 高２：５３ 高３：５８ 合計１７５）

	高１	高２	高３	全体（１７５名）
① 楽しい	５３名 ８２．９％	３９名 ７３．６％	４３名 ７４．２％	１３５名 ７７．２％
② 楽しくない	５名 ７．８％	５名 ９．５％	１名 １．８％	１１名 ６．４％
③ どちらでもない・わからない	６名 ９．３％	９名 １６．９％	１２名 ２０．６％	２７名 １５．３％
④ 回答不可	０名 ０％	０名 ０％	２名 ３．４％	２名 １．１％

２．学校で楽しいことはどんなことですか？（※「楽しい」と回答した生徒のみ回答）

	高１	高２	高３		高１	高２	高３
① 授業	２６	１４	２１	⑤ 休み時間	１８	１４	１９
② 行事	１１	１３	１５	⑥ 友達や先輩・後輩と話す	２３	１０	２３
③ 部活動	１７	１４	１９	⑦ 先生と話す	２０	６	８
④ 給食	２７	１６	１６				

３．好きな授業は何ですか？

	高１	高２	高３		高１	高２	高３
① 国語	１６	６	６	⑨ 保健体育	２１	２０	２７
② 数学	１９	１０	１３	⑩ 家庭	１１	１５	７
③ 理科	６	７	１２	⑪ 職業	９	２	２
④ 社会	４	６	５	⑫ 作業学習	１８	１１	１０
⑤ 外国語	８	９	４	⑬ 特別教室	５	２	４
⑥ 情報	１	３	９	⑭ 生活単元学習	１	２	２
⑦ 音楽	３０	２４	２６	⑮ 総合的な探究の時間	３	１	５
⑧ 美術	１６	１４	１８	⑯ 日常生活	１	０	０

4. 好きではない授業は何ですか？

	高 1	高 2	高 3		高 1	高 2	高 3
① 国語	1 4	1 0	1 3	⑨ 保健体育	8	4	7
② 数学	1 9	1 1	1 7	⑩ 家庭	9	8	7
③ 理科	7	5	3	⑪ 職業	6	9	7
④ 社会	4	5	6	⑫ 作業学習	8	1 4	7
⑤ 外国語	2 1	8	1 5	⑬ 特別教室	4	3	1
⑥ 情報	3	5	1	⑭ 生活単元学習	7	1	2
⑦ 音楽	9	5	5	⑮ 総合的な探究の時間	2	3	3
⑧ 美術	9	7	8	⑯ 日常生活	5	4	6

7. 社会人になるために、どんなことを勉強したいですか？また、身につけたいですか？

	高 1	高 2	高 3		高 1	高 2	高 3
① 読み・書きする力	1 4	7	1 5	⑨ 体力	1 8	1 5	1 6
② 買い物	1 3	6	1 0	⑩ 交際について	1	3	4
③ 交通機関	1 0	6	7	⑪ 時間を守ること	1 1	1 0	7
④ パソコン	1 1	1 1	1 3	⑫ 話を聞く力	7	5	4
⑤ あいさつ	2 3	1 6	1 6	⑬ ルールを守る	1 0	3	3
⑥ 人付き合い	1 9	8	1 3	⑭ 健康	5	1 0	1 1
⑦ 調理・縫い物	4	1 0	9	⑮ 言葉づかい	6	7	4
⑧ 作業力	7	1 0	8	⑯ その他	2	2	5

8. 悩みがあったときに相談したい先生はいますか？

(※回答数 高 1：6 4 高 2：5 3 高 3：5 8)

	高 1	高 2	高 3	全体 (1 7 5)
① いる	3 3	2 1	3 4	8 8
	5 1 . 6 %	3 9 . 7 %	5 8 . 7 %	5 0 . 3 %
② いない	1 4	1 7	1 1	4 2
	2 1 . 9 %	3 2 %	1 9 %	2 4 . 1 %
③ わからない	1 5	1 5	1 0	4 0
	2 3 . 4 %	2 8 . 3 %	1 7 . 2 %	2 2 . 8 %
④ 回答不可	2	0	3	5
	3 . 1 %	0 %	5 . 1 %	2 . 8 %

9. みなさんに暴力をふるう先生はいますか？

(※回答数 高 1：6 4 高 2：5 3 高 3：5 8)

	高 1	高 2	高 3	全体 (1 7 5)
① いる	0	0	0	0

	0 %	0 %	0 %	0 %
② いない	5 2 8 1 . 3 %	4 6 8 6 . 8 %	5 4 9 3 . 2 %	1 5 2 8 6 . 9 %
③ わからない	1 1 1 7 . 2 %	7 1 3 . 2 %	2 3 . 4 %	2 0 1 1 . 4 %
④ 回答不可	1 1 . 5 %	0 0 %	2 3 . 4 %	3 1 . 7 %

10. みなさんにらんぼうな言葉をつかう先生はいますか？

(※回答数 高1:64 高2:53 高3:58)

	高1	高2	高3	全体(175)
① いる	1 1 . 5 %	0 0 %	0 0 %	1 0 . 5 %
② いない	4 5 7 0 . 4 %	4 4 8 3 . 1 %	4 9 8 4 . 5 %	1 3 8 7 8 . 9 %
③ わからない	1 6 2 5 %	9 1 6 . 9 %	6 1 0 . 4 %	3 1 1 7 . 8 %
④ 回答不可	2 3 . 1 %	0 0 %	3 5 . 1 %	5 2 . 8 %

○「1. 学校は楽しいですか？」に対し、「楽しい」と回答した生徒は77. 2%であった。「2. 学校で楽しいことはどんなことですか？」に対し、「①授業」、「④給食」、「⑥友達や先輩・後輩と話す」が上位となった。「3. 好きな授業は何ですか？」に対し、「⑦音楽」、「⑨保健体育」、「⑧美術」が上位となり、実技系の授業が好きな生徒が多い結果となった。「4. 好きではない授業は何ですか？」に対し、「②数学」、「⑤外国語」、「①国語」が上位となった。「7. 社会人になるためには、どんなことを勉強したいですか？また、身につけたいですか？」に対し、「⑤あいさつ」、「②体力」、「⑥人付き合い」が上位となった。社会人になるために「あいさつ」が大切と捉えている生徒が多いことが分かり、日頃の学習の成果を確認できるよい機会となった。「8. 悩みがあったときに相談したい先生はいますか？」に対し、「①いる」が50. 3%、「②いない」が24. 1%となった。先生に限らず、悩みがあったときや困ったときに相談できる大人や窓口の周知を行い、改善を図っていく。「10. みなさんにらんぼうな言葉をつかう先生はいますか？」に対し、「①いる」に1名の回答があった。この1名について聞き取りを実施したところ、「注意の仕方がきつい・強い」、「怒り口調」での指導が確認された。当該教員にも聞き取りを実施し、事実が確認されたため指導を行った。

3 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 15人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
8	1				1	5

4 その他

学校評価のアンケートの項目、提示の仕方等については、来年度の第1回学校運営連絡協議会で協議を行い、スムーズに学校評価を進め学校経営に生かしていく。